

第17回 高校生ものづくりコンテスト鹿児島県大会 実施要項

- 1 目的 若者の製造離れが進み、ものづくりの技術・技能の継承が危ぶまれている。工業立国である我が国が継続的に発展するには、産業の発展を支える技術・技能の維持・向上を図るとともに、若年技術・技能者を確保し、育成することが大切である。
そこで、全国規模の競技会に本県生徒を参加させることにより、県下工業高校生のレベルアップとともに、技術・技能尊重の社会的気運の醸成を図る。
- 2 会場 鹿児島工業高等学校 旋盤作業部門、電気工事部門、電子回路組立部門、化学分析部門
競技種目 木材加工部門、測量部門、家具・工芸部門
鹿児島情報高等学校 自動車整備部門
- 3 期 日 平成30年6月2日（土）
主会場（鹿児島工業高等学校）日程
9：00 ～ 9：20 受付（第一会議室）
9：20 ～ 9：45 開会式
9：45 ～ 10：15 準備
10：15 ～ 12：50 競技（部門によっては時間外でも実施）
12：45 ～ 16：30 審査・昼食・閉会式（各部門毎）

※旋盤作業、電気工事部門は6月1日（金）～6月2日（土）の2日間開催とする。
- 4 主 催 鹿児島県高等学校長協会工業部会
鹿児島県高等学校文化連盟（工業クラブ連盟）
- 5 主 管 高校生ものづくりコンテスト実行委員会
- 6 共 催 鹿児島県高等学校教育研究会工業部会
- 7 後 援 鹿児島県教育委員会（予定）
- 8 参加者 (1) 出場選手 各学校1部門につき2名以内を原則とする。参加希望者多数の場合の出場選手の決定は、学校代表を優先する。詳細は、各部門の実施要項に準ずる。
(2) 参加資格 (社) 全国工業高等学校長協会会員校の生徒
- 9 競技規定 各競技とも部門実施要項に明記する。
- 10 表彰 (1) 最優秀賞（1位）、優秀賞（2、3位）、優良賞（4～6位）として表彰する。
ただし、参加数が12名・チームに満たない場合は、各部門で協議し参加数の半数を目途に表彰する。
(2) 県大会の最優秀賞受賞者は九州大会（沖縄大会）に、九州大会の最優秀賞受賞者は全国大会（東海大会）に出場する。
- 11 審査 (1) 審査基準 各部門ごとの審査基準による。
(2) 審査員 企業の技術者、学識経験者等に委嘱し、各部門とも原則3名以内とする。
- 12 費用 (1) 参加費 参加者1名あたり2,000円（当日徴収）とする。
測量部門は1チーム2,000円
(2) 保 険 参加者負担なし
傷害保険については、独立行政法人日本スポーツ振興センターの保険が適用されます。

13 大会役員

- ・ 実行委員長

鹿児島県高等学校長協会工業部会長（鹿児島工業高等学校長）田 代 裕一郎

- ・ 実行副委員長

鹿児島県高等学校文化連盟工業クラブ専門部長（加治木工業高等学校長）満 丸 浩

- ・ 部門責任者

旋盤作業部門	満丸浩	（加治木工業高等学校長）
自動車整備部門	新納武彦	（鹿児島情報高等学校長）
電気工事部門	帆西弘幸	（隼人工業高等学校長）
電子回路組立部門	福永和雅	（鹿屋工業高等学校長）
化学分析部門	末吉成人	（出水工業高等学校長）
木材加工部門	有上英夫	（川内商工高等学校長）
測量部門	有富慎一	（吹上高等学校長）
家具・工芸部門	永田正明	（穎娃高等学校長）

- ・ 部門競技担当者

旋盤作業部門	北吉美大	（鹿児島工業高等学校）
自動車整備部門	福元秀孝	（鹿児島情報高等学校）
電気工事部門	福重朗人	（鹿児島工業高等学校）
電子回路組立部門	嶽崎明夫	（鹿児島工業高等学校）
化学分析部門	宇都一彦	（鹿児島工業高等学校）
木材加工部門	野村裕英	（鹿児島工業高等学校）
測量部門	阿蘇孝之	（加治木工業高等学校）
家具・工芸部門	佐伯佳昭	（鹿児島工業高等学校）
事務局総括	田中耕一郎, 荒殿信哉	（鹿児島工業高等学校）

14 問合せ 鹿児島県立鹿児島工業高等学校（〒890-0014 鹿児島市草牟田2丁目57番1号）

高校生ものづくりコンテスト鹿児島県大会実行委員会事務局 荒殿 信哉

TEL 099-222-9205, FAX 099-222-9206

15 本年度開催予定のものづくりコンテスト九州大会・全国大会

(1) 九州大会（沖縄大会）

期日 平成30年7月7日（土）～7月8日（日）全8部門

(2) 全国大会（東海大会）

期日 平成30年11月17日（土）～11月18日（日）全7部門